

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2008-58445(P2008-58445A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-233122(P2006-233122)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月26日(2009.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

像振れ補正用の補正レンズを保持する保持部材と、
前記保持部材を光軸に直交する方向に移動可能に支持する固定部材と、
前記保持部材の前記固定部材に対する相対的な位置を変化させる駆動手段と、
前記保持部材と前記固定部材の間に配設され、0.3Hzから100Hzの帯域に転移領域を有する減衰剤とを有することを特徴とするレンズ駆動装置。

【請求項2】

前記減衰剤は、ゲル剤であることを特徴とする請求項1に記載のレンズ駆動装置。

【請求項3】

前記ゲル剤は紫外線硬化シリコーンゲルであり、硬化状態において前記帯域に転移領域を有することを特徴とする請求項2に記載のレンズ駆動装置。

【請求項4】

前記減衰剤は、前記保持部材又は前記固定部材の一方に設けられた前記光軸に並行な軸部材と、他方に設けられた穴部との間隙に配設されることを特徴とする請求項1に記載のレンズ駆動装置。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれかに記載のレンズ駆動装置を具備することを特徴とする像振れ補正装置。

【請求項6】

請求項5に記載の像振れ補正装置を具備することを特徴とする撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明は、像振れ補正用の補正レンズを保持する保持部材

と、前記保持部材を光軸に直交する方向に移動可能に支持する固定部材と、前記保持部材の前記固定部材に対する相対的な位置を変化させる駆動手段と、前記保持部材と前記固定部材の間に配設され、0.3Hzから100Hzの帯域に転移領域を有する減衰剤とを有するレンズ駆動装置とするものである。